

# 板城地域センターだより



2013  
3月号

〒739-0033 東広島市西条町馬木 565-1 電話・ファックス 082-425-2688



2月9日(土)33名参加の「親子で楽しむカルタとり」が行われました。まずは紅白に分かれて俳句詠み競争をして、百人一首カルタでは大人顔負けで小4年生が次々に下の句札を獲り「また黄金の手がのびたね！」と喝采をうけていました。

2月1日(金)板城地区社協主催「40歳からの健康づくり」が行われました。座ったままのストレッチやボールを使っての筋力アップ体操を教わりました。2日(土)は冬の男性料理教室が開かれ24名が腕をふるいました。



### 住民自治協議会からのお知らせ

設立総会後初めての役員会を二月九日(土)開催しました。今回からは部長も出席しこれからの実施項目と予算概要について説明し、年度代わりに伴う各自治区の役員選任を依頼してそれまでは現役員で作業をすることを決定しました。

板城俳句抄 板城俳句会

柚子風呂や親子が歌う歌もれて 折川ゆきえ  
 旧病棟毀されてゆく余寒かな 岡田 暮煙  
 ひと雨に草の芽つんと立ち上がり 岡田 恵子  
 襖絵に架かる半円冬の虹 見山 順子

### センター長のひとりごと

二月十一日建国記念日の祝日は、板城地区では可燃ゴミの収集が久しぶりに休日休みとなった。次の収集日の十四日には、各ゴミステーションには相当膨大な量の黄色い袋が出されていた。あるステーションでは、ゴミ置き場のボックスの中に入りきらず扉の外側に置かれているところもあった。収集時間もわが地域では通常十一時半ころであるが、この日だけは午後一時半を過ぎていた。二回分のゴミが出されているのだから当然と言えば当然だが、あらためて搬出される家庭ゴミの多さに驚いた。

ゴミの削減のためには、やはりリユース(再利用)とリサイクル(再生資源)が主な手段となる。分別をきっちりと行い、少しでも減量化することが必要だと思う。そういえば、間もなく東日本大震災から丸二年になるが、映像で見たあの瓦礫の山は、少しは減ったのだろうか？